



26

蓬萊の玉の枝
いろいろは歌

「竹取物語」から

ねらい

- ① 仮名遣いに注意して読もう。
- ② 物語の展開・内容を理解し、古典の世界にふれよう。

ウォーミングアップ



読解の道しるべ

竹取物語 「かぐや姫」の話として知られている。

- ・ 年代……平安時代の初め頃作られたと考えられている。
- ・ 作者……不詳。

・ 現存する「日本最古の物語」と言われている。

・ 民間に語り継がれていた「伝説」がもとになっている。

・ 「源氏物語」の中で、「物語の出で来はじめの祖」と評されている。

竹の中から生まれ、竹取の翁夫婦に大切に育てられたかぐや姫は、美しく成人する。五人の貴公子や帝が求婚するが、かぐや姫は応じようとしない。その後、中秋の名月の夜、天から降りてきた迎えの人々と共に、かぐや姫は月の都へと帰ってしまう。

◆古典の仮名遣い（歴史的仮名遣い）を現代仮名遣いに直すときの原則

1 語頭以外のハ行の音は「わ・い・う・え・お」とする。

(例) あはれ→あわれ 言ひける→言いける

2 「を」を「お」とする。

(例) をかし→おかし をとこ→おとこ

3 「ゐ」を「い」、「ゑ」を「え」とする。

(例) ある→いる こゑ→こえ

4 「ぢ」を「じ」、「づ」を「ず」とする。

(例) なんぢ→なんじ いづれ→いづれ

5 「au」→「ou」、「iu」→「yu」などとする。

(例) (mau) (nou) (sou) (tau) (yau) (yuu)



「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

日本でも最も古い
とされている。民間に語り継がれていた伝説を
の話としてよく知られている「竹取物語」は、
時代に初め頃に作られたと考えられている。

1 漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

- ① 斜面を駆け下りる。 □② 帝から御文をたまわる。
- ③ 鳥を籠に入れる。 □④ 冒頭の一文を暗記する。
- ⑤ 恐ろしい事件が起きる。 □⑥ 用件を承る。
- ⑦ 名所を訪れる。 □⑧ 客を迎え入れる。
- ⑨ 子供を授かる。 □⑩ 結婚を報告する。
- ⑪ 道順を尋ねる。 □⑫ 送迎用のバスに乗る。

2 線の片仮名を漢字で書きなさい。

- ① 夢をアキラめない。()
- ② オクリ物にリボンをかける。()
- ③ 卒業証書をツツに入れる。()
- ④ ズボンのスソを折る。()
- ⑤ 王にメされる。()
- ⑥ ムスメが一人いる。()
- ⑦ かぐやヒメの物語。()
- ⑧ 弁当とスイトウを持っていく。()
- ⑨ 宝物をウバわれる。()
- ⑩ お茶に菓子をソえる。()

3 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の語句の意味を後の□の中から選び、書きなさい。

- | | |
|--------|--------|
| □① あまた | □② よろづ |
| □③ いはく | □④ 翁 |
| □⑤ 今は昔 | |

おじいさん おばあさん たくさん 言うことには
聞いた いろいろ 今ではもう昔のことだが

(2) 次の——線部の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ① 「かぐや姫」は架空の物語である。
- ア 人々の間で語り継がれてきたこと。

イ 世の中にめつたに現れないこと。

ウ 非常に立派であること。

エ 事実ではなく、想像によって作られたこと。

□② 至難のわざにいどむ。

ア 易しいことと難しいこと。

イ きわめて難しいこと。

ウ 少し難しいこと。

エ だんだん難しくなること。

□③ まことしやかに語る。

ア 本当のことだけを。

イ いかにも本当らしく。

ウ まじめな口調で。

エ まごころをこめて。

(3) 次の①～③の読み方を、現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。

- ① 問ふ
- ② よそほひ
- ③ 言ひ伝へたる

いろは歌 教科書 p.154～p.155

1 「いろは歌」について述べた次の□に入る漢数字を答えなさい。

いろは歌は、
文字の仮名を
回ずつ使って作られて

おり、仮名を学ぶ手本や、物の順序を示すものとして使われた。



練習問題 1

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

教科書 P.158 ②.1 ~ P.160 ②.8

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

15

10

5

- (2) ——— 線①「竹取の翁」の仕事はどんなことですか。現代語で二十五字以内で書きなさい。

- (3) ——— 線②「あやしがりて、寄りて見る」について、次のⅠ～Ⅲに答えなさい。

□ Ⅰ 「あやしがりて」の現代語訳を文中から書き抜きなさい。

□ Ⅱ 誰の行為ですか。文中から四字で書き抜きなさい。

□ Ⅲ このようにしたのはなぜですか。現代語で二十字以内で書きなさい。

□ (4) ——— 線③「三寸ばかりなる人」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□ Ⅰ この人はどこにいましたか。

□ Ⅱ この人は、その後どうなりましたか。次の①～③について、説明しなさい。

- a いふものありけり
- b よろづのことに使ひけり
- c なむいひける
- d うつくしうてゐたり

(1) 線 a～d の読み方を、現代仮名遣いに直して、**全て平仮名で書きなさい。**

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

〔蓬萊の玉の枝―竹取物語から〕

25 20

- ① 成長の様子
 - ② 姿かたちの様子
 - ③ つけられた名前
 - ④ 「いとつくしうてゐたり」の現代語訳を、次のように分けて文中から書き抜きなさい。
 - ⑤ 線⑤「人目につかぬ家に閉じ籠もった」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。
- Ⅰ 家に閉じ籠もったのは誰ですか。文中から二つ、七字で書き抜きなさい。
- Ⅱ 家に閉じ籠もったのは何をするためでしたか。

□	□

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

『蓬萊の玉の枝』—『竹取物語』から

35

30

25

20

□⑥ 折りてまうで来たるなり

(5) —線③「取りてまうで来たりし」、⑤「のたまひし」の主語に当たる人物として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 翁

イ くらもちの皇子

ウ かぐや姫

エ 天人のよそほひしたる女

□③ ()

□⑤ ()

()

□(6) —線⑦「おっしゃったものと違ってはいけないうらう」という現代語訳には、原文にはない言葉が補われて訳されています。その補われた言葉を文中から書き抜きなさい。

(7) この原文は、どんな場面を語ったものですか。次の文の□A～Cに入る言葉を現代語訳の中からAは四字、Bは一字、Cは三字で書き抜きなさい。くらもちの皇子(「私」)が□Aへ、□Bが言っていた□Cを探しに行った場面。

□A

□B

□C

□(8) —線⑧「皇子の策略」とありますが、くらもちの皇子の策略の結果を□内の文中から二字で書き抜きなさい。

